

多様化が進む 遊園地・テーマパークの現状と展望

ぶぎん地域経済研究所 調査事業部研究員 加藤 達朗

2020年8月31日、東京都練馬区の遊園地「としまえん」に詰め掛けた来場者の営業最終日を名残惜しむ光景が大きなニュースとなった。としまえんは、ジェットコースターや観覧車、絶叫アトラクションなどに加え、プール、アイススケートリンク、釣り堀まである複合型レジャー施設。創業から90年を超え、レジャーの多様化や少子化が進むなか、施設の老朽化やニーズの変化に対応できず閉園となった。近年では都市部に位置する施設でさえ、閉園に追い込まれるケースが散見されており、足元では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、業界全体が未曾有の事態に陥っている。

こうしたなか、本稿では、近年多様化している遊園地・テーマパークについて、本県および近隣都県の動向を中心に現状と今後の展望についてまとめた。

1 遊園地・テーマパークの概念

遊園地とテーマパークの違いは経済産業省で以下のとおり明確に定義されている。

●遊園地

主として屋内、屋外を問わず、常設の遊戯施設^{*1}を3種類以上（直接、硬貨・メダル・カード等を投入するものを除く）有し、フリーパスの購入もしくは料金を支払うことにより施設を利用できる事業所

^{*1} 遊戯施設とは、コースター、観覧車、メリーゴーランド、バイキング、フライングカーペット、モノレール、オクトパス、飛行塔、ミニSL、ゴーカーなどという。

●テーマパーク

入場料をとり、特定の非日常的なテーマのもとに施設全体の環境づくりを行い、テーマに関連する常設かつ有料のアトラクション施設^{*2}を有し、パレードやイベントなどを組み込んで、空間全体を演出す

る事業所

^{*2} アトラクション施設とは、映像、ライド（乗り物）、ショー、イベント、シミュレーション、仮想体験（バーチャルリアリティ）、展示物の施設などという。

遊園地は遊戯施設を中心としたハードを、テーマパークは非日常な空間や環境を中心としたソフトを売りにしているところで大きく異なる。

一般にテーマパークという概念が定着するようになったのは、1983年に千葉県浦安市に開業した東京ディズニーランド（以下、TDL）と言われる。ウォルト・ディズニーが描いた作品の世界観をアトラクションやパレードなどで表現したTDLは、週休2日制の導入や好景気とも相俟って人気を呼び、その後のテーマパークを定義づける大きな存在となった。

2001年には東京ディズニーシー（以下、TDS）と、大阪市にハリウッド映画の世界を体感できるユニバーサル・スタジオ・ジャパン（以下、USJ）が開業。この頃からキャラクターや大型アトラクションを売りとした施設だけでなく、より身近なお菓子や乗り

物をテーマとした施設や、子供向け職業体験をテーマとしたものなど、新たなかたちのテーマパークも見られるようになった。既存施設も新たなコンセプトのエリアやアトラクションを導入して年々進化を続けており、現在では遊園地・テーマパークも一段と多様化し、多くの人のレジャーの選択を左右する観光資源となっている。

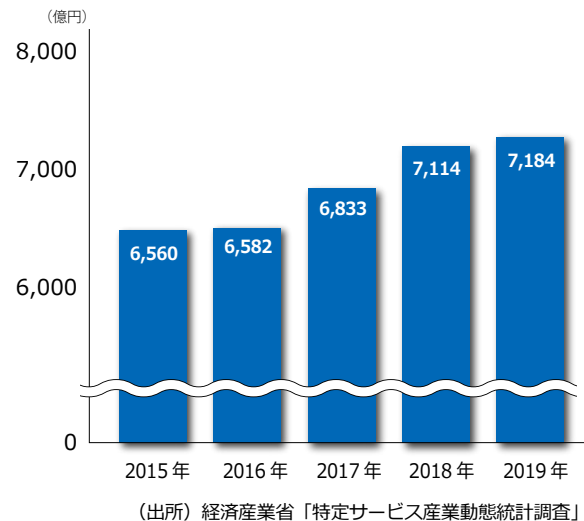
2 遊園地・テーマパークの現状

経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、遊園地・テーマパークの2019年の売上高は7,184億円で前年比1.0%の増加、2019年までは堅調な推移が続いていた(図1)。インバウンド(訪日外国人)急増などの追い風もあり、好調な集客を受けてTDLやTDS、USJなどで大型リニューアルが相次いだことが大きな要因といえる。

TDLでは2015年7月に新アトラクション「スティッチ・エンカウンター」がオープン。2018年にはTDLを発端とする東京ディズニーリゾート35周年を記念したアニバーサリーイベントが好調で、TDSでも大規模拡張プロジェクトが進むなか、2019年7月には大型アトラクション「ソアリン：ファンタスティック・フライト」が導入された。

USJは、2014年に登場した「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」エリアに加え、

図1 遊園地・テーマパークの売上高合計



2017年には人気キャラクター「ミニオン」の世界観に浸ることができるエリア「ミニオン・パーク」を開業し、集客に大きく寄与している。

東京都多摩市のサンリオピューロランドは、やる気のなさが人気の「ぐでたま」と対話できるアトラクションを2016年7月に導入し、ぐでたまの国を観光する体験型アトラクション「ぐでたまらんど」が開業した。東京都稲城市に位置するよみうりランドは、2016年3月に日本のものづくりの素晴らしさを遊びながら学ぶことができる大型屋内施設「グッジョバ!!」を開業。従来型アトラクションとは一線を画し、子どもたちに親しみやすい自動車、

主なトピックス		
2014年	7月	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ)、新エリア「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」をオープン
2015年	7月	東京ディズニーランド (TDL)、新アトラクション「スティッチ・エンカウンター」を導入
2016年	3月	よみうりランド、新エリア「グッジョバ!!」をオープン
	7月	サンリオピューロランド、新アトラクション「ぐでたまらんど」を導入
2017年	4月	USJ、新エリア「ミニオン・パーク」をオープン
		世界的知育玩具レゴブロックをテーマにした「レゴランド・ジャパン」が新規開業
2018年	4月	オリエンタルランド、東京ディズニーリゾート35周年を記念した大型イベントを開催
	7月	レゴランド・ジャパン、入場チケットに変動価格制を導入
		富士急ハイランド、入園料を無料化
2019年		那須ハイランドパーク、新アトラクション「ディノワールド」を導入
	1月	USJ、入場チケットに変動価格制(ダイナミックプライシング)を導入
	3月	フィンランド童話ムーミンをテーマにした「ムーミンバレーパーク」が新規開業
		東京ドームシティアトラクションズ、屋内ジェットコースター「バックダーン」を導入
	4月	浅草花やしき、園内に多目的ホール「浅草花劇場(あさくさかげきじょう)」をオープン
2020年	7月	東京ディズニーシー (TDS)、新アトラクション「ソアリン：ファンタスティック・フライト」を導入
	6月	屋内型ミニチュアテーマパーク「スモールワールド TOKYO」が新規開業
		東武動物公園、遊園地エリアをリニューアルオープン
	9月	TDL、ディズニー映画「美女と野獣」をテーマにした新エリアを開業
	12月	東京都内のテーマパーク7施設、期間内遊び放題の「都内テーマパークサブスクリプションチケット」を発売
		動物とふれあえる屋内型パーク「オービィ横浜」、閉館

(当研究所にて作成)

食品、ファッション、文具の4業種のものづくりを親子三代で体感できる施設となった。

また、デンマークで生まれた世界的知育玩具であるレゴブロックをテーマにしたレゴランド・ジャパン（名古屋市港区）が2017年4月にオープン。2019年3月には、フィンランドの童話ムーミンの世界を体感できるムーミンバレーパークが、埼玉県飯能市の宮沢湖畔にオープンするなど、新規開業も相次いだ。

一方、中小規模の遊園地・テーマパークは苦戦が続き、大手との二極化が鮮明となってきており、都心に位置するとしまえんでさえ閉園に追い込まれるほど、人口減少の逆風が直撃している。老舗遊園地「浅草花やしき」を運営しているバンダイナムコグループの花やしき（東京都台東区）は、2019年3月期決算で最終赤字を計上するなど厳しい経営状況のなか、2019年4月に同園の新しい象徴として新ホール「花劇場」をオープン。遊園地事業とは異なる演劇や音楽ライブ、講演、展示会など、新たなエンターテインメント事業に乗り出している。

こうしたなか、2020年2月頃からは新型コロナウイルス感染症が拡大。業界全体で大幅な需要減に見舞われ、これまで堅調だった大手を含め状況は一変した。緊急事態宣言の発出を受け各施設は順次休園したことから、3月の売上高は前年同月比97.5%減、翌4月には同98.9%減と激減（図2）。

入場者数を大幅に制限しながら営業を再開し、6～7月あたりからは回復傾向にあったものの、11月以降の感染再拡大で、足元では再び減少幅が拡大している。

ウィズコロナ時代に突入し、日常生活において新しい生活様式が求められるなか、遊園地・テーマパークの楽しみ方も大きな変化を迎えている。東日本・西日本遊園地協会と賛同企業は昨年5月に「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定。

- (1)来場者と従業員を含む、遊園地・テーマパークに関わる全ての人の健康管理に留意すること
- (2)衛生的な施設・設備を提供できるように清掃・消毒を強化実施すること

ムーミンバレーパーク

湖を一望できる広大なエリアに位置するムーミンバレーパークは、フィンランド童話ムーミンの世界観や緑あふれる大自然に浸りながら、ゆったりとした非日常を楽しむことができるのが最大の特徴。ムーミンの物語をより深く紹介した「ストーリーガイド」を集めながら散策することで、ムーミンを知らない人でも物語を知っていく楽しさが味わえる。

ムーミン一家が暮らすムーミン屋敷、物語で登場する灯台、水浴び小屋のほか、さまざまなコンテンツが用意されている。なかでもフィンランド語で「体験」を意味する施設

「KOKEMUS(コケムス)」は、ムーミンの物語を紹介する常設展や、ムーミン谷の巨大ジオラマといった展示の数々が楽しめる必見スポット。

テーマパークでは珍しくペット同伴での入園が可能で、運営会社の森重マーケティング企画部長は「パーク内はフォトスポットが盛りだくさん。ムーミンの物語の世界に入って、飼い主もペットも四季折々の景色を楽しみながら散歩したり写真を撮ったりできるのが人気」と語る。3月13日（土）からは開業2周年イベント「SPRING FESTIVAL」が開催される。



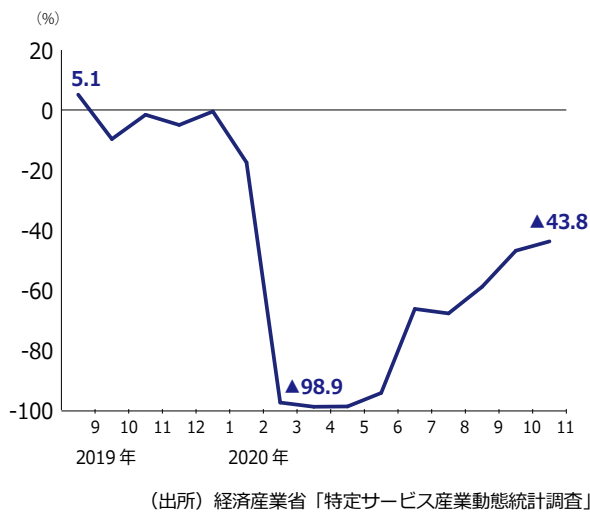
©Moomin Characters™

施設概要

- 所在地：埼玉県飯能市
- 施設開業：2019年3月
- 運営：株式会社ムーミン物語



図2 遊園地・テーマパークの売上高合計の
前年同月比



(3) 身体的距離と十分に換気された空気環境を確保するように運営すること

の3点を基本原則として掲げた。そのうえで、ジェットコースターなどの乗り物では大声の発声を控えることや、着ぐるみが園内にいる場合には着ぐるみとの触れ合いを控えることなど、入園口、アトラクション、売店、飲食施設、休憩所等、それぞれにおいて詳細な注意点を示している。

3 相次ぐ企業ブランド発信型施設の開業

コト消費ともいわれる体験を重視したサービスへの関心が高まるなか、企業の自社製品やサービスに関する体験をテーマパーク化した企業ミュージアムや工場見学施設の開業が近年各地で相次いでいる。

こうした施設は幅広い世代に受け入れられ、現在では重要な地域観光資源としても注目されている。

JR 東日本は、2007 年 10 月に創立 20 周年記念事業のメインプロジェクトとして開館した「鉄道博物館」(さいたま市大宮区)の来館者が、2018 年 5 月に 1,000 万人を突破。同年 4 月には全面的なリニューアルを行い、新たにバーチャル映像とともに風と振動の演出を体感できる AR (拡張現実) 装置「新幹線スコープ」などを導入している。また、2011 年 9 月にオープンした日清食品の「カップヌードルミュージアム 横浜」(神奈川県横浜市)も、オリジナルカップヌードルを作ることができる工房「マイカップヌードルファクトリー」が大きな注目を集めるなど、こうした施設の成功が企業ミュージアム増加のきっかけとなった。

キューピーは家庭用マヨネーズの製造工場の跡地を活用し、2014 年 6 月に見学施設「マヨテラス」(東京都調布市)をオープン。2020 年 1 月には、京浜急行電鉄が横浜市西区の新社 1 階に、創業 120 周年事業として「京急ミュージアム」を開業した。

このほか、溶接加工の長田工業所(福井県坂井市)は、日本初の取り組みとしてフランチャイズチェーン(FC)方式で「溶接テーマパーク アイアンプラネット」を運営。溶接や金属加工を楽しみながら体験できる場を全国の鉄工所に広げており、FC 第 1 号が 2020 年 9 月に静岡県沼津市でオープンした。今後も栃木県栃木市、神奈川県秦野市などでオープンが予定されている。

埼玉県内をみると、2012 年 10 月に江崎グリコ

主な「企業ブランド発信型」の施設		
2007 年	10 月	JR 東日本、さいたま市大宮区に「鉄道博物館」をオープン
2011 年	9 月	日清食品、神奈川県横浜市に「カップヌードルミュージアム 横浜」をオープン
2012 年	10 月	江崎グリコ、埼玉県北本市に「グリコピア・イースト」をオープン
2014 年	6 月	キューピー、東京都調布市に「マヨテラス」をオープン
2016 年	8 月	川崎重工業、東京都港区に「カワサキロボステージ」をオープン
	10 月	鈴鹿かまぼこ、神奈川県小田原市の「かまぼこ博物館」をリニューアルオープン
2017 年	7 月	江崎グリコ、千葉県野田市に「グリコピア CHIBA」をオープン
2019 年	1 月	中村屋、埼玉県入間市に「中華まんミュージアム」をオープン
	4 月	カゴメ、長野県富士見町に「カゴメ野菜生活ファーム富士見」をオープン
	10 月	アサヒ飲料、群馬県館林市に「カルピス 미래のミュージアム」をオープン
	11 月	笛木醤油、埼玉県川島町に「金箔しょうゆパーク」をオープン
2020 年	1 月	京浜急行電鉄、神奈川県横浜市に「京急ミュージアム」をオープン
	6 月	チョーヤ梅酒、神奈川県鎌倉市に「蝶矢」をオープン
	9 月	長田工業所、静岡県沼津市に「溶接テーマパーク アイアンプラネット」の FC1 号店をオープン
	10 月	ピックルスコーポレーション、埼玉県飯能市に「OH!!! ~ 発酵、健康、食の魔法 !!! ~」をオープン

(当研究所にて作成)

の工場見学施設「グリコピア・イースト」（北本市）がオープン。製造ラインを見学できるだけでなく、オリジナルのジャイアントポッキーが作れる体験プログラムが人気となった。2019年には、入間市に中村屋（東京都新宿区）が「中華まんミュージアム」を開業したほか、創業230年を迎えた川島町の笛木醤油は、創業記念事業の一環として本社敷地内の醤油蔵を改装し「金笛しょうゆパーク」を開業するなど、食品メーカーの体験施設が目立っている。2020年10月には、漬物製造大手のピクルスコーポレーションが飯能市に発酵のテーマパーク「OH!!! ~発酵、健康、食の魔法!!!~」をオープンした。

企業ミュージアムや工場見学施設でのさまざまな体験の提供は、企業にとってCSR（社会的責任）の一環としてだけでなく、自社ブランドの歴史やストーリー、理念などを消費者に直接発信できるメリットが大きい。ただ見てもらうだけでなく、エンターテインメント性を高めた体験で、製品やサービスの魅力をより詳しく伝え、より多くの人にファンになってもらうことができる。

現在では、SNSの普及で体験の共有も容易になっていることから、その時その場所でしか得られないより限定的な体験に価値を感じる消費者が増えつつある。こうした体験は、コト消費から一歩進んだトキ消費ともいわれており、ニーズの変化とともに、体験型施設もより一層多様化していく可能性がある。

4 商業施設一体型が増加傾向

日本ショッピングセンター協会「SC白書」によると、2019年のショッピングセンターにおける業種別テナント数の割合は、物販62.7%、飲食18.1%、サービス19.2%となった（図3）。アパレルやファッション雑貨の販売低迷やインターネット通販の普及拡大で物販の割合は漸減する一方、サービスはコト消費の広がりを背景に漸増傾向にあることがわかる。

リアル店舗を展開するショッピングセンターやアウトレットモールなどの商業施設にとって、消費者にわざわざ来店してもらう動機のひとつとして、レ

OH!!! ~発酵、健康、食の魔法!!!~

「OH!!!」と驚くような発酵体験を提供することをコンセプトに、「ご飯がススムキムチ」で知られるピクルスコーポレーションのグループ会社OHが運営する発酵のテーマパーク。

天覧山麓の能仁寺敷地内に昨年オープンし、週末には3,000人ほどが訪れる人気スポットとなっている。施設は発酵食品のセレクトショップ、巨大な薪火窯を眺めながら食事ができるレストラン、乳酸菌が入ったスイーツやドリンクを提供するカフェ、発酵の力を体験できるワークショップの4棟で構成される。

ワークショップ「パリシャキ研究所」では、キムチやぬか漬

けなど発酵食品づくりを体験でき、体験者からは「自分好みのキムチを作ることができ、食べ比べもできて楽しかった」「手ぶらで参加でき、発酵の知識も深められた」といった声が寄せられている。

尾中真二社長は「コロナ禍で事前に十分なプロモーションはできなかったが、女性やファミリー、シニアなど幅広い層の方々にご来場いただいている。これからも多くの人に発酵食品の魅力を体験してもらいたい」と意気込む。

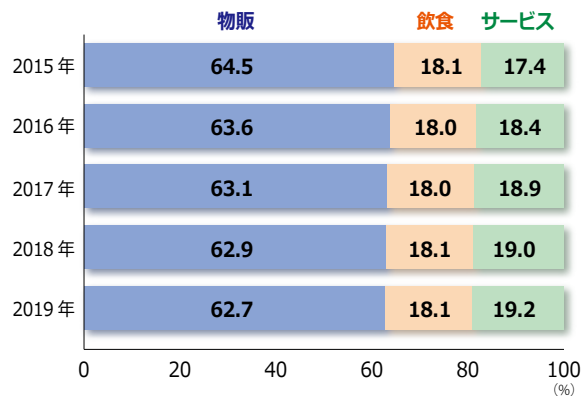


施設概要

- 所在地：埼玉県飯能市
- 施設開業：2020年10月
- 運営：株式会社OH



図3 業種別テナント数の割合



(出所) 一般社団法人日本ショッピングセンター協会「SC白書 2020」

ジャー施設の存在感が強まっている。商業施設にとっては集客の目玉となるだけでなく、滞在時間も長くなるなどメリットは大きい。かつては多くの百貨店の屋上に遊園地があったことなどから、親子で遊び、思い出を作り、買い物を楽しむというスタイルは現在でも変化していないといえる。

大型ショッピングセンター「アーバンドック ららぽーと豊洲」の開業にともない、2006年10月

に子供向け職業体験型テーマパークとしてオープンした「キッズニア東京」(東京都江東区)は、2018年7月には累計入場者数が1,000万人を超え、現在ではキーテナントのひとつとなっている。千葉市美浜区の「イオンモール幕張新都心」では、お仕事体験テーマパーク「カンドゥー」が2013年12月にオープン。同施設ではさらに2017年4月、次世代型アスレチック施設「スペースアスレチック トンデミ」も開業している。

2019年11月には、東京都町田市に「グランベリーパーク」が開業。同施設は「生活遊園地〜くらしの『楽しい』があふれるエンターテインメントパーク〜」をコンセプトとし、アウトレット業態や飲食店のほか、レンタルオフィス施設も入居する。商業施設と隣接する鶴間公園を一体的に開発した特徴的な施設で、商業と公園のつなぎ目には「スヌーピーミュージアム」が翌12月にオープンし、広域からの集客に貢献している。

埼玉県内をみると、イギリス生まれのキャラクター「きかんしゃトーマス」のテーマパーク「トー

リトルプラネット

最新のデジタル技術を駆使して子どもたちの探究心や創造力を刺激する次世代型テーマパーク。

常設型パーク「リトルプラネット ららぽーと新三郷」では、テクノロジーと自然の共存をイメージしたデザインで、約160坪の敷地に17のアトラクションを展開。AR砂遊びの「SAND PARTY!」では、砂の形状に合わせてまるで本物の海が現れたかのようなリアルな映像が楽しめるほか、光と音のボールプール「ZABOOM」や、塗り絵が立体となってスクリーンの中で動き出す「DRAW YOUR WORLD」、描いた乗り物がスクリーンに映し出しされ、躍

動感あふれるカーレースが楽しめる「SKETCH RACING」などが人気だ。

広報担当の横山さんは、「子ども向け施設ではあるも、大人でも十分に楽しめるアトラクションを提供している。スイッチひとつでさまざまな映像体験を変化させられる更新性の高さが強み」と語る。

常設型パーク以外では、公共施設や店舗のキッズスペースに機器を設置し、知育コンテンツや空間演出を提供する事業も積極展開している。



施設概要

- 所在地：埼玉県三郷市ほか、全国各地で常設パークを展開
- 施設開業：2018年7月
- 運営：株式会社ブレスホルダ

主な「商業施設一体型」の施設		
2006年	10月	「キッザニア東京」、東京都江東区の「アーバンドック ららぽーと豊洲」にオープン
2009年	9月	「トーマスタウン」、埼玉県三郷市の「ららぽーと新三郷」にオープン
2012年	7月	「東京ジョイポリス」（東京都港区「デックス東京ビーチ」内）、リニューアルオープン
2013年	7月	「ナンジャタウン」（東京都豊島区「サンシャインシティ」内）、リニューアルオープン
	12月	「カンドゥー」、千葉県美浜区の「イオンモール幕張新都心」にオープン
2015年	4月	「ボーネルンドあそびのせかい」、さいたま市大宮区の「コクーンシティ」にオープン
2016年	4月	「あそびパーク PLUS」、埼玉県越谷市の「イオンレイクタウン」にオープン
	10月	「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」、神奈川県平塚市の「ららぽーと湘南平塚」にオープン
2017年	4月	「FlyStation（フライステーション）」、埼玉県越谷市の「イオンレイクタウン」にオープン
		「スペースアスレチック トンデミ」、千葉県美浜区の「イオンモール幕張新都心」にオープン
2018年	7月	「リトルプラネット」、埼玉県三郷市の「ららぽーと新三郷」にオープン
2019年	5月	「PuChu！（プチュウ）」、横浜市西区の「アソビル」にオープン
	12月	「スヌーピーミュージアム」、東京都町田市の「南町田グランベリーパーク」にオープン
2020年	8月	「CULAFUL（キュラフル）」、東京都港区の「アトレ竹芝」にオープン
	11月	「角川武蔵野ミュージアム」、埼玉県所沢市の「ところざわサクラタウン」にオープン

（当研究所にて作成）

マスタウン」（三郷市）が「ららぽーと新三郷」の開業に合わせて2009年9月にオープン。さらに2018年7月には、同施設にAR（拡張現実）やVR（仮想現実）を使った知育デジタルテーマパーク「リト

ルプラネット」もオープンした。

また、所沢市には「ところざわサクラタウン」が2020年11月に開業。同施設はKADOKAWAが運営を担い、ホテル、レストラン、イベントホール、

深谷市「花園 IC 拠点整備プロジェクト」

埼玉県深谷市は、市内全体を野菜のテーマパークに見立て、全国有数の産出額を誇る野菜を前面に出したまちづくり戦略「ベジタブルテーマパークフカヤ」を掲げている。野菜の本当の魅力を発信し、生産者との関係性を築くことで、何度でも訪れたくなるまちにして地域経済を活性化させるのが大きな狙いだ。

深谷市の産業ブランド推進室長補佐の福嶋さんは「生産者のストーリーを知って、野菜は楽しいということを体験してもらい、観光客が生産者とつながりながら野菜のファンになってもらう。こうした関係性や付加価値を生み出すことが今後のカギ」と語る。まち全体でテーマパークとしての機能を持ち、市内回遊を積極的に促進していく計画が進められている。

こうしたなか、広域的な観光産業振興の中核となる「花園 IC 拠点整備プロジェクト」では、関越自動車道の花園インターチェンジ近くに、アウトレットモール「ふかや花園プレミアム・アウトレット（仮）」とキューピーの農業体験施設「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」が2022年に開業する予定。さらに、イベント広場や遊具、水遊び場などを配置した公園緑地「深谷テラス パーク（仮）」を深谷市が整備する計画となっている。



深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム
（イメージ図）



ふかや花園プレミアム・アウトレット（仮）
（イメージ図）

深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム 施設概要

- 施設開業：2022年春予定
- 運営：キューピー株式会社

ふかや花園プレミアム・アウトレット（仮） 施設概要

- 施設開業：2022年秋予定
- 運営：三菱地所・サイモン株式会社

オフィス、神社などで構成された日本最大のポップカルチャーの発信拠点と位置づける。メイン施設となる「角川武蔵野ミュージアム」には、高さ8メートルの巨大本棚に囲まれる「本棚劇場」やアニメ文化を紹介する「EJ アニメミュージアム」など、図書館・美術館・博物館が融合した文化複合施設となっている。

5 遊園地・テーマパークの今後

政府は2021年1月7日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため首都圏の1都3県に2度目の緊急事態宣言を発出。翌週には、愛知県、大阪府など2府5県も対象に加わり、各施設では、来場者のさらなる人数制限や時短営業、一時休業などの対応に迫られている。新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態に見舞われるなか、その進捗は極めて不透明ではあるものの、2021年以降もさまざまな施設でリニューアルや新規開業が予定されている。

オリエンタルランドは、TDSに設ける新エリア「ファンタジースプリングス」に人気映画「アナと雪の女王」などのアトラクションを2023年度に導入する予定。

USJは、任天堂の世界観をテーマにした新エリア「スーパー・ニンテンドー・ワールド」を2021年2月4日に開業すると公表していたものの、延期を余儀なくされた。当初は東京オリンピック・パラリンピックに合わせて2020年夏の開業予定だったため、2度目の延期となっている。

所沢市の西武園ゆうえんちは、リニューアル工事にともない2020年11月より休園中であり、2021年春のオープンを見込む。60年代の街並みを再現

し、新アトラクションも導入。来園者数低迷の回復に向け、全面改装でテコ入れする。

新規開業では、2022年秋に愛知県長久手市の愛・地球博記念公園内にジブリパークが開業予定。2023年前半には、閉園したとしまえん跡地の一部に映画「ハリー・ポッター」のテーマパーク「ワーナーブラザース スタジオツアー東京ーメイキング・オブ ハリー・ポッター」が開業する見込みとなっている。

今後は、コロナ禍での長期間の自粛疲れから、三密を避けながらリフレッシュができる近場の遊園地・テーマパークに対するニーズが高まっていくものと予想される。また、海外旅行が制限されている現在では、これまで海外を重視していた人が、普段の生活圏内で非日常感を味わえる国内レジャーに目を向けるようになるかも知れない。これまで地元レジャースポットにあまり関心なかった人が、さまざまな魅力ある施設を再発見する機会も増えてくるだろう。各地で新たな集客が増えてくれば、SNSなどを通じてより多くの人に情報が拡散し、二次的、三次的な波及効果や、地域の活性化も期待できるのではないだろうか。

また、中長期的にはテレワーク普及などで働き方の選択肢が一段と高まることで、都心への人口流入減少とともに郊外志向が加速するなど、ウィズコロナ時代の新常態が緩やかに広がっていくものと想定される。一部企業で試験的に導入されている週休3日制などの動きが進み、休暇取得がより柔軟化されれば、職住近接だけでなく、職住に遊が融合したライフスタイルが浸透し、遊園地・テーマパークに対するニーズはより多様化していく可能性があり、その動向が注目される。

今後の主なトピックス		
2021年		USJ、緊急事態宣言解除後に新エリア「スーパー・ニンテンドー・ワールド」のオープン日程を公表予定
	3月	TDLとTDS、入園チケットに変動価格制（ダイナミックプライシング）を導入
	4月	パナソニック、東京都江東区のパナソニックセンター東京内にクリエイティブミュージアム「AkeruE（アケルエ）」をオープン予定
		小田急電鉄、小田急海老名駅隣接地に「ロマンスカーミュージアム」を新規開業予定
	春	西武園ゆうえんち、リニューアルオープン予定
2021年度以降		愛知県名古屋市に「キッズニア名古屋」が新規開業予定
2022年	春	キューピー、埼玉県深谷市に野菜をテーマにした体験型複合施設「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」を新規開業予定
	秋	愛知県長久手市に「ジブリパーク」が新規開業予定
2023年	前半	東京都練馬区のとしまえん跡地に「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京ーメイキング・オブ ハリー・ポッター」が新規開業予定
2023年度		TDS、新エリア「ファンタジースプリングス」をオープン予定

（当研究所にて作成）